

新たなユニットリーダーの就任について

令和7年2月28日

福島国際研究教育機構（F-REI）は、福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望となるものとするとともに、我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上に貢献する、世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」を目指しています。

F-REIでは、ロボット、農林水産業、エネルギー、放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用、原子力災害に関するデータや知見の集積・発信の各分野で研究開発に取り組んでいます。

F-REIの研究開発は、外部委託等による研究開発から、インハウスによる研究開発へと移行することとしております。これまで8名のユニットリーダーについて発表してまいりましたが、この度、1名のユニットリーダーの就任を発表いたします。これにより、F-REIのインハウス研究体制は全9ユニットの構成となりました。

ユニットリーダーは、担当するユニットの研究員等の研究体制の構築等についてのユニット全体のマネジメントと、研究テーマを設定、主導し、研究員を指導する業務を行います。新たなユニットリーダーは、今後、ユニットリーダーの下にユニットサブリーダー、研究員等を配置し、ユニットの体制を整えることとしております。

今回発表の1名は公募により採用し、就任いただく予定です。担当するユニットや経歴等は次頁以降をご参照ください。

なお、F-REIは今後も、インハウスの研究体制の構築に向け、更なるユニットリーダー等の確保に努めてまいります。

【問合せ先】

福島国際研究教育機構 研究開発企画課

Tel: 0240-41-9967

E-mail: F-REI_kenkyukikaku@f-rei.go.jp

分野	ユニット名	ユニットリーダー
農林水産業 分野	土壌ホメオスタシス研究 ユニット 土壌の物質循環における“恒 常性”回復機構を活用し、 土壌創製によって低環境負 荷・低コスト農業を実現する。	藤井 一至 京都大学農学研究科博士課程修了（博士（農学）） 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所主任研究 員を経て、現職 

(参考1) これまでに就任したユニットリーダー

分野	ユニット名	ユニットリーダー () は兼務先
ロボット分野	遠隔操作研究ユニット 実際に触る感覚(力触覚)を伝送する技術を活用し、過酷環境において、実働に供与できる作業効率と信頼性を高めた遠隔操作技術の研究開発を行う	大西 公平 (慶應義塾大学特任教授) 東京大学大学院修了(工学博士) 慶應義塾大学理工学部にて教育と研究に従事 同大ハプティクス研究センターセンター長 同大新川崎先端研究教育連携スクエア特任教授 
	自律化・知能化・群制御研究ユニット ロボットの自律性を高度化するため、AI等を用いた知能化、複数のロボットを協調的に制御する技術の研究開発を行う	富塚 誠義 (カリフォルニア大学バークレー校教授) 慶應義塾大学大学院修士課程修了 マサチューセッツ工科大学にてPhD(工学博士)を取得 カリフォルニア大学バークレー校にて教育と研究に従事 
	燃料電池システム研究ユニット 長時間飛行・高ペイロードを実現し、かつカーボンニュートラルの実現にも貢献する、燃料電池システムを用いた小型ドローンの研究開発を行う	飯山 明裕 (山梨大学特任教授) 東京大学大学院修了(工学修士) 日産自動車株式会社総合研究所でエンジンの研究開発に従事(工学博士) その後燃料電池研究所長として燃料電池の開発に従事 現在は山梨大学大学院総合研究部工学域物質科学系(水素・燃料電池ナノ材料研究センター)特任教授として教育と研究に従事 同大水素・燃料電池ナノ材料研究センター長 
農林水産業分野	土壌・植物マルチダイナミクス研究ユニット 土壌環境と植物栄養の相互の影響を多面的に探求し、作物の収量拡大と農業の継続性向上を実現する	二瓶 直登 (福島大学教授) 東北大学大学院博士前期課程修了 福島県農業総合センターに勤務し、東京大学大学院農学生命科学研究科修了(農学博士) 現在は福島大学食農学類にて教育と研究に従事 
エネルギー分野	水素エネルギーシステム安全科学ユニット 地産地消の水素エネルギーシステムを構築し、社会実装を目指すためのリスク評価を行うことにより、水素エネルギーシステムの安全確保に必要な研究開発等を行う。	迫田 直也 (九州大学大学院工学研究院機械工学部門准教授) 慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程修了(博士(工学)) 九州大学水素材料先端科学研究センター物性研究部門長 九州大学大学院工学研究院機械工学部門にて教育と研究に従事 
放射線科学・創薬医療分野	植物イメージング研究ユニット 生体内の物質動態を捉えて植物の栄養生理の理解を深め、農作物の生産性向上・高付加価値化に資する放射線を活用したイメージング研究を展開する	河地 有木 (量子科学技術研究開発機構 上席研究員/プロジェクトリーダー) 筑波大学大学院物理研究科修了(博士(理学)) 国立循環器病センター研究所、日本原子力研究開発機構等を経て、現在は国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構にて量子バイオ基盤研究部のRIイメージングプロジェクトのリーダー 
	放射線基盤技術開発ユニット 新規の放射線検出、分析技術など、放射線の計測・イメージングの基盤技術を高度化し、独自性の高い技術を開発する	高橋 浩之 (東京大学教授) 東京大学大学院工学系研究科修了(博士(工学)) 東京大学教授 大学院工学系研究科 附属総合研究機構プロジェクト部門にて教育と研究に従事 
原子力災害に関するデータ・知見の集積・発信分野	放射生態学ユニット 放射性物質の植物や淡水魚等への移行や蓄積に関する室内実証実験による現象の理解を踏まえ、これらに関与する因子の探索から、移行や蓄積量の低減化の方策について検討を行う。	青野 辰雄 (専任) 近畿大学大学院化学研究科修了(理学博士) ~2022 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線総合研究所福島再生支援研究部、グループリーダー 

(参考2) F-REI組織図

